

盲導犬との暮らしのなかで 仁賀保高校・福祉教室

10月28日、仁賀保高校の福祉教室に小玉力さん（室沢）と盲導犬が招かれ講話を行いました。当時、大工をしていた小玉さんは23歳の時に全盲となり、以後30年以上にわたり盲導犬と生活しています。教室では「どんな犬が盲導犬になれるのか」、「お金の管理や買い物の仕方」など、生徒からの質問に応えながら見えないなかでの工夫などを話しました。



▲小玉さんと現在5頭目となる盲導犬

1日15分運動しよう チャレンジデー2021

10月27日、チャレンジデーが行われ多くの市民が市内各所で15分以上の運動をしました。エスパーク★にかほで行われた体力測定会には多くの親子連れの参加者が訪れ、市スポーツ推進委員指導のもと各種目に挑戦。自身の体力を数値で確認しながら、今後の健康づくりに活かそうとする姿が見られました。なお、今年の参加率は36.8%でした。



▲長座前屈に挑戦する体力測定会に参加したキッズ

鳥海山麓の生態系を守るため 第27回ブナを植える会植樹会

10月23日、鳥海山2合目・旧栗園で鳥海山にブナを植える会主催の植樹会が行われました。あいにくの雨模様でも時折り陽が差すなか、市民や東北電力ネットワークの皆さんなど60人が参加し、苗木300本を植樹。昔から鳥海山麓の生態系と密接な関わりを持つブナ、参加者は歴史背景や植生などを学びながら1本1本心を込めて植樹していました。



▲植樹後、しっかりと周りの土を固める参加者

地震のとき、身を守る行動を 地震体験車による地震体験

10月18日、消防本部で象潟小学校6年生児童が地震体験車による地震を体験しました。地震のときの身を守る行動について意識を高めるため、2つの大震災の揺れを体験。短い揺れでも多くの建物被害があった阪神淡路大震災、長い揺れと津波の被害が甚大だった東日本大震災、それぞれの揺れの違いと揺れの大きさに児童たちは驚いている様子でした。



▲テーブルにしがみついただけで精一杯の児童たち

秋晴れの放課後、グラウンドで 昔遊び・たかふめそ

11月2日、院内小学校で郷土クラブの児童たちが昔遊びを体験しました。普段から郷土の歴史や昔の遊びを教えている禅林寺の山中律雄住職、今回は地元の年配者でも知っている人がほとんどいない珍しい遊び「たかふめそ」。グラウンドに描いた1から6の数字と「た・か・ふ・め・そ」の文字で、秋晴れの放課後を楽しむ児童たちの姿が見られました。



▲皆さんは知っていますか？昔遊び「たかふめそ」

いざというとき、慌てず冷静な行動を 踏切脱出訓練会

11月2日、三森踏切でJR東日本秋田支社が主催する踏切脱出訓練会が行われました。にかほ地区交通安全協会や由利本荘署員が参加し、実際に車に乗り踏切に閉じ込められた状態からの脱出を体験。参加者からは「直面すればパニックになるかもしれないが落ち着いて行動したい」との声が聞かれました。いざというときも慌てず冷静な行動が大切です。



▲遮断棒を押し上げるように、ゆっくり前進

進路選択のヒントとして 中学生と管内企業のふれあいPR事業

10月26日、仁賀保中学校で管内企業のふれあいPR事業が行われました。生徒が幅広い業種と直接ふれあい、地域で働くことについて考えてもらおうと、地元企業など16社が参加。順番に企業ブースを周り、担当から「どんな仕事？何を作っている？ここが楽しいしやりがいがある！」などの説明を受けると、生徒たちは熱心にメモを取っていました。



▲美容業に興味津々の生徒たち

スポーツを通して爽やかに交流 ベトナム人技能実習生・フットサル交流会

10月24日、エスパーク★にかほで本荘由利地域の企業で働くベトナム人技能実習生とにかほ市民によるフットサル交流会が行われました。本市では、海外からの実習生が働きやすく住みよい環境を作るため外国人材支援事業に取り組み、これまで観光ツアーや料理教室を実施。この日は、本荘由利地域の4社で働く実習生が爽やかな汗を流しました。



▲懸命にボールを死守する実習生(写真左)